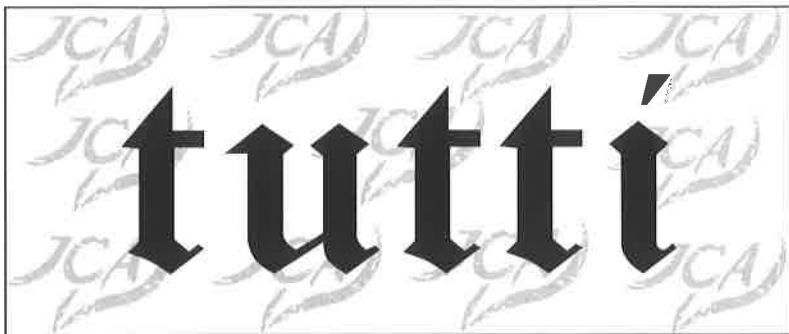


富山県合唱連盟



第71号 令和4(2022)年8月20日

富山県合唱連盟

事務局 北日本新聞社事業局内

〒930-8680

富山市安住町2番14号

TEL (076) 445-3355

FAX (076) 431-1924

発行人 中井隆司

転換期の今、そしてこれから



富山県合唱連盟理事長 中井隆司

2022年度がスタート。5月には辻秀幸先生をお迎えして中高生と指導者のための講習会、6月には第70回富山県合唱の祭典を開催しました。合唱の祭典には24団体・393名(昨年は16団体・283名)の参加がありました。コロナ禍を乗り越え、本県の合唱活動は確実に回復しています。

今後の事業は、8月の全日本合唱コンクール富山県大会(アイザック小杉文化ホール)、そして9月の全日本合唱コンクール中部支部大会(新川文化ホール)と続きます。中部支部大会には、2日間にわたり各県から約60団体・2000名が参加します。運営にあたり、連盟役員並びに各合唱団の皆様の協力をよろしく願います。

近年、日本全体の人口減少と高齢化が著しく、合唱界も同様です。生涯にわたって合唱を愛する方々を大切にしながら、いかにジュニ

アや小学生等の若年層を中心に合唱の裾野を広げ、それを中学・高校・大学での合唱活動に繋げて合唱人口を増やしていくか。若い人たちにとって魅力ある合唱活動の在り方は、本県にとっても喫緊の課題です。国が提唱する「文化庁活動の地域移行」の動向も注視していく必要があります。

7月半ば、コロナの第7波がやってきました。感染者数の棒グラフは連日過去最多を更新しました。新規感染者数ではなく重症者数や病床使用率を重視！ワクチンの4回目接種が大事！熱中症にも厳重注意！いろんな声がある中、国や県は現段階では行動制限は行わず、「行事やイベントは感染対策をして予定通り開催してください」と、社会経済活動を回していく方針です。

私たち自身の危機意識・自粛意識は引き続きとても強い。でもそれは自分自身や家族・職場や社会・自分たちの合唱団を守るためです。間違いなく正しいことです。

富山県合唱連盟として、音楽を広げることの大切さと続けることの難しさを痛感しています。しかし、必ず音楽の先には素晴らしい世界があると信じています。

心から合唱を楽しむことができず、まだまだもう少し時間がかりたい。これまで通りの慎重さを保ちながら、全加盟団体が心を一つにして「一歩前へ、一歩その先へ」進みましょう。

今後の連盟活動に対し、引き続き皆様の力強いご支援ご協力をよろしく願います。



富山大学合唱団



出町中学校合唱部



富山大学教育学部附属中学校コーラス部



富山高校コーラス部



アンサンブル舞歌



合唱団「あるも」

2022年度富山県合唱連盟総会は、4月17日(日)に富山県民会館にて開催されました。新型コロナウイルス感染症が収束せず今後が見通せない状況ではありますが、みなさまのご協力をいただきながら一歩ずつ前進できればと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

2022年度事業計画 「富山県合唱連盟主催事業」

- 2022年
 - 6月12日(日) 第70回富山県合唱の祭典
 - 第53回富山県おかせんコーラス大会
 - 第23回富山県小学校・中学校・少年少女コーラスフェスティバル(併催)
 - 富山市婦中ふれあい館
 - 8月11日(木・祝) 第75回全日本合唱コンクール富山県大会
 - アイザック小杉文化ホール
 - 9月24日(土・25日)(日) 第75回全日本合唱コンクール中部支部大会(中部合唱コンクール)新川文化ホール
 - 12月25日(日) 第58回第九交響曲「歓喜の夕べ」2022オーバード・ホール(コロナ禍のため中止)
- 2023年
 - 2月11日(土・祝) 合唱講習会 講師 三宅悠太(作曲家) 第22回富山県室内合唱コンサート アイザック小杉文化ホール
- 「全日本・中部支部主催事業」
 - 2022年
 - 7月3日(日) 第45回全日本おかせんコーラス中部支部大会 キッセイ文化ホール
 - 8月27日(土・28日)(日) 第45回全日本おかせんコーラス全国大会
 - 昭和女子大学人見記念講堂
 - 9月24日(土・25日)(日) 第75回全日本合唱コンクール中部支部大会(中部合唱コンクール)新川文化ホール
 - 10月29日(土・30日)(日) 第75回全日本合唱コンクール全国大会(中学・高校) リンクステーションホール青森
 - 11月13日(日) 第75回全日本合唱コンクール(小学校) フェニーチェ堺
 - 11月19日(土) 20日(日) 第75回全日本合唱コンクール全国大会(大学・職場一般)



「中高生と指導者のための合唱講習会」

2022年5月29日(日)、アイザック小杉文化ホールにて「中高生と指導者のための合唱講習会」を3年ぶりに開催しました。講師に辻秀幸先生をお招きし、県内の中高生と指導者約200人が参加しました。中学校の部は「Repeat」、高等学校の部は「無音が聴こえる」を課題曲として、歌唱ポイントや音楽づくりについて指導を受けました。

砺波市立出町中学校合唱部 部長 3年 中村 咲紀

曲を練習するときのポイントや各パートの歌い方など、たくさんの視点から学ぶことができました。辻秀幸先生のお話に引き込まれ、練習もとてもおもしろく、楽しく参加できました。場面ごとにそれぞれのパートがどのような動いているのか、またそれがどのような効果があるのか、細部までご指導いただきました。また、実際にパートごとに声を聴きながらご指導してくださり、とても分かりやすかったです。「この記号がこの歌詞にあるのはなぜか」「その記号をどのような感情で歌うのか」と問いかけてくださり、私たちがこれからの方向で進むべきかのヒントをくださいました。

また、今回嬉しかったのは、他校の合唱部のみなさんと一緒に練習できたことです。初めて会う方々と一緒に歌うのは緊張もありましたが、切磋琢磨できる合唱仲間がたくさんいるということに幸せを感じました。辻先生にご指導いただいたことを私たちが消化し、私たちだけのキセキを掴んでいこうと思います。



いずみ高校合唱部

出町小学校合唱クラブ

女声合唱団「ヴォーチェ・フォンターナ」

県民芸術文化祭2022 第71回富山県芸術祭主催行事 第23回富山県小学校・中学校・少年少女コーラスフェスティバル 第53回富山県おかせんコーラス大会

6月12日(日)、富山市婦中ふれあい館において「県民芸術文化祭2022第71回富山県芸術祭主催行事」の一環として「第70回富山県合唱の祭典」が開催されました。「第23回富山県小学校・中学校・少年少女コーラスフェスティバル」「第53回富山県おかせんコーラス大会」を併催し、3部構成で24団体(403名)が参加、感染防止対策に注意を払いながら日頃の練習の成果を発表いたしました。

出演団体

◆第1部 新湊合唱クラブ 女声合唱団「コール麗」 南砺市立井波小学校合唱部 合唱団「ミル・ステラ」 合唱団「あるも」 富山大学教育学部附属中学校コーラス部 富山あざみ女声合唱 砺波市立出町小学校合唱クラブ

◆第2部 富山少年少女合唱団 アンサンブル舞歌 富山いずみ高校合唱部 小矢部市民合唱団 富山アカデミー女声合唱団 女声合唱団「クール・クロア」 富山大学合唱団 合唱団「楽音樹」 福野あすなる合唱団

◆第3部 南砺福野高校合唱部 砺波市立出町中学校合唱部 合唱団おおさわの 砺波高校合唱部 魚津高校音楽部・富山東高校合唱部 富山高校コーラス部 女声合唱団「ヴォーチェ・フォンターナ」

新湊合唱クラブ 小久保恵子

慣れとはなんと恐ろしいことか、リハーサルの時初めてマスクを外して声を出したら、自分の声が変わらなくなっていました。本番は一番目、ドキドキしながらステージに立ちました。曲名は「東京物語」、東京大空襲で焼け野原になり、東京の復興の一助となった歌のメドレーです。団員の三分の二が戦前、戦後団塊の世代に生まれた人達で、非常に懐かしい曲です。一曲歌うごとに声が出始め、最後には思い切り歌うことが出来ました。この二年半、富山アラートになると休部、解除されると再開の繰り返し。文化会館のチャット薄暗いロビーで、感染対策をしながらの練習。何とか歌いこなす事が出来ました。

外出制限で家に籠り、鬱々とした毎日でしたが、週二回の練習が大いに気分転換となり、ますます歌う事の楽しさ素晴らしさを実感しました。コロナ禍、戦争と重い時間が流れています。早く楽しく歌える事を祈ります。

小矢部市民合唱団 上田外喜男

コロナで久しぶりの出演になり、今までとは違った緊張感を感じながら、ステージ下の待機所で待つて居りました。練習不足と「マスク」を介しての練習が続く声の出し方を忘れていて、苦労しました。ステージに上がればすべての心配を忘れて、楽しく歌うことができました。準備等沢山のご苦労ありがとうございました。



新湊合唱クラブ

小矢部市民合唱団

女声合唱団「コール麗」

最後に、2時間という短い時間の中で私達中学生のためにご指導してくださった辻先生、本当にありがとうございました。

私たちのイチオシ合唱曲

コラム

～歌う楽しみ、聴く楽しみ、合唱曲への思いを語りませんか～

私たちの団の愛唱歌といえばコダーイ作曲のKOSZONTO(ケセンテ)です。ハンガリー語で"お祝い"という意味があり、新しく見学者や入団者の方が来てくれたときに、歓迎の意味を込めて歌っています。

私も18年前の入団時と、結婚したときにも歌ってもらっています。歌の中に祝う人の名前を入れるのが「あるも」の通例で、これを聞くとみんな喜んでくれて、気が付くと入団しています。ですが、最近は歌う機会が少ないので、ちょっと寂しい今日この頃。もっと歌う機会が増えるといいのですが……。

この曲は1分くらいの短い曲ですが、ちゃんと歌うとディナーミクの起伏も大きく、歌い始めの明るい和音から、中盤は男声と女声が独立した動きと掛け合いを楽しみ、またTuttiで和音を作りながら盛り上がり、最後はスッと終わっていきます。きちんと練習してしっかり歌う機会を作って、がっつり歌いこみたいですね。そしてぜひこの曲を聴いてみたいという方は、合唱団「あるも」に足を運んでいただけるとありがたいです。

合唱団「あるも」 松木 崇



私が紹介する曲は、近代ハンガリーの作曲家Kodaly Zoltan (コダーイ・ゾルターン) の無伴奏曲「Esti dal (夕べの歌)」です。

この曲は、流浪に疲れた旅人が1日の終わりに神様に安らかな眠りを願う内容が歌われています。下3声で作るハーモニーの上を高声部が歌う導入から始まり、中盤では対照的なポリフォニーの進行で音楽を盛り上げ、再び最初のテーマに戻ってきます。混声版、同声版(男女とも)があるので、どのような団体でも取り組むことができるのも魅力の一つです。旋律の美しさはもちろんですが、各声部で作るハーモニーの移り変わりもこの曲の聴き所です。出だしの低声部から和音を積み重ねる部分だけでも、合唱の喜びを感じられること請け合いです。

Kodalyは音楽家としてだけではなく、民族研究や音楽教育の分野でも有名です。彼の研究を基とした「コダーイ・システム」は今日の音楽大国ハンガリーの根幹をなすものと言え、日本を含め多くの国の教育家、合唱指導者等が研究・実践に取り組んでいます。参考文献として、横井雅子著『ハンガリー音楽の魅力—リスト・バルトーク・コダーイ—』(2006年初版、東洋書店)をご紹介しますので、よろしければご一読下さい。

あ、最後に一言だけ。「近代なのにコダーイ」。

Szia!

アンサンブル舞歌 植松 洋

編集後記

今回、tuttiの新しい試みとして、コラム「私たちのイチオシ合唱曲」というコーナーを作ってみました。連盟には学生からベテランまで様々な年代の合唱団が所属しており、取り組む合唱曲もまた様々だと思えます。合唱の祭典など、演奏をもって紹介し合う機会がありますが、あらためてその合唱曲への思いまでを語る機会はそう多くはないと感じています。若い世代が名曲に触れたり、ベテラン世代が新進気鋭の作曲家に出会うなど、新たな発見に繋がれば幸いです。次回のtuttiにもコラムを掲載予定です。順次各団体へ寄稿を依頼する予定ですが、我こそはという方がおられましたら、ぜひ広報部廣井までご一報ください。

今年の中部合唱コンクールは富山県での開催です。こちらも様々な団体、様々な音楽に出会う絶好の機会と言えます。競技の場ではありますが、一方で演奏会や交歓会という側面もあるので、ぜひご来場ください。審査員気分でお出場団体を順位付けして、自分と似た評価を付けた審査員を見つけてみるのも楽しいですよ。

広報部部长 牧野 洋子
副部長 本多以都子
副部長 廣井 健一

演奏会「ピククス」

富山あざみ女声合唱団第38回定期演奏会

六月十九日(日)

富山県教育文化会館ホール

工藤直子作詩、相澤直人作曲の「あいたくて」で幕開け。一部は、信長貴富編曲の北原白秋童謡詩集「赤い鳥小鳥」を。二部に指揮者、門田宇三ニステージを挟み、三部は、新川和江作詩、木下牧子作曲の「わたしは風」を演奏しました。女性の視点で書かれた詩であるせいか、とても自然に楽しみながら作曲できたとおっしゃった木下牧子氏。詩を何度も繰り返し読み、同じ女性である私たちの心に響く詩に感情移入し表現することを心掛けました。

前回は合唱用マスクをつけての演奏でしたが、合唱連盟、自治体のガイドラインに沿った対策をし、マスクを外して演奏しました。歌うことを楽しみ、仲間と歌える喜びを感じ取っていただけたのではないかと思います。

多くの皆様のご協力を得て、コロナ禍で開催できなかったことに心から感謝いたします。

☆令和4年度

富山県合唱連盟役員

顧問	蒲地 誠	中村義朗
相談役	沢井一哉	浅岡節夫
常任相談役	松下正樹	森川紀博
参与	横野 昭	長井久美子
	山本富士子	
理事長	杉本朋子	津田朋信
副理事長	中井隆司	林紀代美
常任理事	佐々木弘恵	
理事	堺谷芳孝	佐生理恵
	中島資美	中藪 陸
	山田邦彦	牧 重和
	梶川静子	上田外喜男
	上田容子	河浦美穂子
	藤井千愛	亀谷美法
	廣本浩太	関野早紀
	水島智代	宮丸 勝
	藤澤 萌	政二義之
	竹内克彦	
	小坪裕子	坂本真一
	西園エリ子	
	高見麻未	平井智美
	牧野洋子	
	本多以都子	廣井健一
	高橋真由美	西田裕美
		柴田陽子
		塚本暁子
		大野太郎
		福田恭子
		柴田陽子